

2010年度

|  |   |     |       |     |
|--|---|-----|-------|-----|
| 科目名  | 経済と社会A  |     |       |     |
| 担当教員   | 村上 慎司   |     |       |     |
| 配当   | 文 1・教育1・人間1   | コード | 25300 |     |
| 開期   | 前期  | 講時  | 火曜日5限 | 単位数 |
|  |   |     |       | 2   |
| 授業テーマ  | 経済学の観点を中心に私たちが暮らす日本社会の諸問題を学習・思考します。   |     |       |     |
| 目的と概要  | <p>本科目の目的は、経済学と隣接社会科学の観点から、私たちが暮らす日本社会の諸問題の現状と背景を学び、その解決に向けて、考えることです。</p> <p>現代日本社会は経済と深く結びついています。例えば、消費行動、労働を通じた所得獲得、各種の納税、社会保障受給等が挙げられます。しかしながら、現代社会は、食品偽装表示、不安定な労働、格差や貧困等の困難な問題に直面しています。これらの問題に対して、経済学は有効な分析手法を提供します。とはいえ、経済学の限界もあります。そこで、本科目は、その限界を隣接社会科学で補いつつ、具体的には、(1)経済学の基本事項、(2)労働、(3)税金、(4)社会保障についての講義を行います。</p> |     |       |     |
| 成績評価法  | <p>期末試験(80%)と、講義時の平常点(20%)で、評価を行います。</p> <p>詳細は初回のオリエンテーションで説明します。</p>  |     |       |     |
| テキスト   | 特に指定しません。資料を配布しながら授業を進めます。  |     |       |     |
| 参考書  | <p>生活保障／宮本太郎／岩波書店</p> <p>税を直す／立岩真也／青土社</p>  |     |       |     |
| 履修に当たっての注意・助言  | <p>オリエンテーションでは、講義の詳細について説明するので、必ず出席するようにしてください。</p> <p>なお、この科目では座席制を導入し、私語・携帯電話の使用・遅刻等の真摯な学習態度ではない行為は厳格に処罰します。</p>  |     |       |     |
| 講義計画   |   |     |       |     |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 経済学の基本事項 (1)</li> <li>3. 経済学の基本事項 (2)</li> <li>4. 労働について (1)</li> <li>5. 労働について (2)</li> <li>6. 労働について (3)</li> <li>7. 中間まとめ</li> <li>8. 税金について (1)</li> <li>9. 税金について (2)</li> <li>10. 税金について (3)</li> <li>11. 社会保障について (1)</li> <li>12. 社会保障について (2)</li> <li>13. 社会保障について (3)</li> <li>14. 社会保障について (4)</li> <li>15. まとめ</li> </ol> |   |     |       |     |